

継続は力なり

Profile ひらの・とおる

昭和36年11月15日生まれ。河原小学校3年生の時に剣道をはじめる。県警では剣道特別訓練師範として剣道だけでなく、県内各地で逮捕術を指導。剣道八段合格は市内在住者では初の快挙。得意技は小手。巨区在住。57歳



力強い踏み込みから、鋭い打突を打ち込む。「剣道は年齢を重ねても続けられることが魅力。これからも日々稽古に励みます」

中学3年生の時に全国中学校剣道大会の団体戦で優勝。卒業後、第一工高校（現開新高校）剣道部の門をたたき、玉竜旗と国民体育大会の団体戦で準優勝を果たす。「剣道を生かして、地元へ恩返しをしたい」という思いから県警へ奉職を決意。採用されてからも全国警察剣道大会団体戦（1部）で頂点に立つなど実績を重ねる。

輝かしい実績をもってしても剣道最高位となる八段合格への道は簡単なものではなかった。「10回以上受審してやっと七段に合格。正直、これ以上の段位は難しいと考えていました」。転機は剣道特別訓練師範になった3年前。娘・美沙紀さんから「県警の師範になったのだから八段に挑戦しないとだめだよ」と言われて奮起。合格に向けて稽古に励んだ。

審査会は平成30年11月に日本武道館で行われた。剣道八段審査は日本で最難関の試験のひとつであり、合格率は1%未満。「自分を良く見せようとせず、日ごろの稽古の成果を出すことを心掛けました」。911人中、合格者は6人。0.7%の狭き門を突破した。現在は、後輩の警察官を指導しつつ、県剣道連盟理事として剣道の普及に奮励している。「剣道を通して、精強な人材を育成したいですね」。自らの経験を次世代へ継承することを誓う。

「菊池人」 希望者を募集します

新しいことに挑戦している人、伝統を受け継いでいる人など、菊池で頑張っている人を募集します。本市在住であれば自薦・他薦は問いません。詳しくは市長公室までお問い合わせください。

問い合わせ先

市長公室広報交流係
☎ 0968 (25) 7252



剣道最高段位八段

平野 亨さん



1_5月8日に待望の初孫が生まれる 2_@イオンモール嘉島で不審者の対応方法や身を守る際に使える護身術などを実践的に指導 3_道場で汗を流す仲間から八段合格のお祝いを受ける(最前列中央)